

# だんだん

## ほんもの教えたい!

面積約17アールの広さの中に、42枚の田んぼが階段状に並ぶ棚田。中には裏を上げたくらいみのの大きさのものも。「こうやってな、手間かけるから一粒一粒味わるんだ」。越後田舎体験に訪れた森村学園高等部(横浜市)の生徒たちに棚田農業を教える田中富士雄さん(浦田・59歳)はグリーンツーリズムの先駆者。学生から社会人まで年間延べ500人が農作業体験に訪れます。刈り入れのこの時期、静かな山あいのに朗らかな笑い声がこだまします。



### 主な内容

- [特集] **アートにかける夏②**… 2-7
- 市役所分庁舎・防災訓練ほか…………… 8-9
- 地上デジタル放送・土地月間…………… 10-11
- 公民館まつり…………… 12-13
- 国民健康保険・老人保健の制度改正… 14-15
- 障害者自立支援法の新たなサービス… 16-17
- 地域の風～支所からのたより～…………… 18-19
- ときめきネットワークほか…………… 20-21
- まちの話題 TOWN TOPICS…………… 22-24
- お知らせ・ガイド…………… 25-27
- ジュニア芸術祭(吉田小学校)…………… 28

愛称「だんだん」は、方言のあいさつ「だんだんどうも」、「河岸段丘・棚田」、「ステップアップ」などを表しています。

# 特集 アートにかける夏!!<sup>2</sup>



満月の下、稲わらで作られた「折りの船」(鈴木淳子・沖啓介)の点火前に天神ばやしを斉唱する元町の皆さん(9月8日(金))

9月10日(日)に50日間の会期を終えた第3回大地の芸術祭は、前回に比べ14万3,897人多い、延べ34万8,997人の鑑賞者でにぎわいました。この結果を踏まえ、実行委員長の田口直人市長は、「間違いなく大成功であったと確信しています。住民をはじめ作家やサポーターの皆さんの協力、支援に感謝します」と今回を振り返りました。今後に向けては、「この10年を検証し、地域・関係団体・県とも相談しながら新たな体制も検討していきたい」と、芸術祭の継続開催に向けて、次なる一歩を踏み出す意向を示しました。

## 特集 — アートにかける夏!!



「暑かったり、汚い仕事もあったりして本当に大変だった。けど、なんか充実してるんだ。感動だよ!」閉会式で肩を抱き合うこへび隊メンバーの口々からそんな言葉が飛び出していました。

「大地の芸術祭を成功させたい」。互いに同じ目的に突き進み、汗した50日間。培われたきずなは次回開催につながる、架け橋になることでしょう。

前号に続き、芸術祭へのそれぞれの熱い思いを紹介します。

### 家族みんなで十日町ファン ツアーガイド 早田絢子さん(足立区・25歳)



金曜日の夜、仕事が終わると十日町に向かいます。そして週末はガイ

\* \* \* \* \*

ドをしています。十日町に通って、もう5年になります。友人に誘われてこへび隊に入ったのがきっかけです。松之山の「夢の家」で畑作りも楽しく経験しました。「ちゃんとはん食べてる」なんて、地元の人に言われておにぎりとか差し入れてもらったりして、気が付いたら十日町にはまってきました。今は家族で松代の棚田オーナーになるなどすっかり「十日町ファン」です。私を感じたそんなこの地域の温かさや魅力を、訪れたたくさんの人たちに知ってもらいたい。そんなガイドを心がけました。

\* \* \* \* \*



芸術祭の経験 これからに生かして ツアーガイド 桑原さやかさん(桜木町・19歳)

私のふるさとである十日町、そして里山を見せる仕掛けにアートを使っているってすごいと思います。それ

につられて、私も大学の休みを利用して参加しています。地元出身とはいえ、地域のことをあまり知らないんだなとつくづく思います。私自身が地域を見つめ直す良い機会でした。お年寄りや家族連れの人たちも多いので、時間設定やトイレ個所の案内、特にずっと暑い日が続いているのでお客さんの体調のことも気になります。ただ作品の案内でなく、そうゆうもてなしのノウハウも学びました。ここでのいろんな人との出会いは、これまでの私の人生の中では経験できなかったお付き合いです。きつと将来自分の何かの役に立つような気がします。

今回の芸術祭が大いに盛り上がったのも、地域の人たちやこへび隊などのサポート体制が広がってきたことと、首都圏で主に資金面やチケット販売で支えてきた「おおへび隊」や、県都新潟市を中心に積極的な協力を呼びかけた「にいがたサポーターズ」の支援も大きなはずみになりました。今回の芸術祭に携わった両グループの二人に聞きました。

### 「おおへび隊」

福武總一郎さん  
(株)ベネッセコーポレーション  
代表取締役会長・60歳



### 地域の頑張り世界に誇れ

主に資金集めのサポートをさせていただきました。寄付金は3億円近くになり、キナーレに名前が刻まれているのを見て、「寄付してよかった」と言ってくれる企業がたくさんありました。ありがたいことです。地域の皆さんが感じ良く、これほど頑張っている例は世界にないでしょう。第4回、第5回と続けてほしいですね。私たちも協力を惜しみません。

### にいがたサポーターズ会議

高橋 豊さん  
(新潟市・61歳)



### 女性パワーに脱帽

県内の皆さんから芸術祭に来てもらうためのサポートをさせていただきました。第3回はとにかく女性パワーがすごかった。男たちは、残念ながら「力およばず」でした(笑)。鑑賞する人も地元の人が多いぶん増えたと思います。おみやげや特産品などの販売を手がける例も多くなって、これからは楽しみですね。私たちの活動?もちろん続けますよ!

### 今も変わらない妻有の思い出

高橋洋輔さん(秦野市・19歳)



僕の祖父母は妻有に住んでいて、幼いころからお盆などによく遊びに行っていました。僕は妻有が大好きでした。大自然の中で虫捕りをしたり釣りをしたりと、妻有の楽しみはたくさんありました。なかでも、僕が何より好きだったのは、お盆やお祭りのときに親戚や集落の人が集まって夕食を囲んだりしながらワイワイ騒いでいる、あの里山独特のにぎわいでした。ここに来れば何か楽しいことが待っている、そう期待させてくれる雰囲気は妻有にはありました。

大地の芸術祭では、そんな里山の空気を感じて、都市からはるばる足を運んだ人たちも多いと思います。また、単なる観光者としてでなく、地域の一員として都市の人たちがいっしょに活動したことが、地元の人たちに喜ばれたようです。この夏、妻有のにぎわいは最高潮に達したんじゃないでしょうか。

**大変な作業にも  
充実した自分**  
和田 卓さん（武蔵野市・21歳）



私は大学で聞いた北川フラム総合  
ディレクターの講演がきっかけで、  
6月中旬から今回の芸術祭に参加し  
ました。

初めて現地でこへび隊として  
活動したのは、松代での空き家  
掃除。とにかくゴミとホコリが  
すくくて、6・7月はひたすら  
降り積もったホコリと闘って  
いました。あの時は自分の作業と  
作品がどうつながるかもわから  
ず、一番しんどかった時期で  
した。

芸術祭が開幕してからは休  
も取りつつ、1か月程こへび隊  
として活動しました。初めの方  
はとにかくこへび隊のメンバー  
が足りなくて、炎天下の十日町  
市街地で、6件の作品を1人で  
巡回しながらお客さんの対応を

したこともありました。  
毎日の業務は大変でしたが、その  
分、作家さんやほかのこへび隊のメ  
ンバーともいろんな話ができたし、  
芸術祭をとおして自分が得た刺激は  
すごく大きかったです。これだけ充  
実した時間を与えてくれた北川さん  
や妻有地域の人たち、そして多くの  
作家さんやこへび隊の仲間たちには  
本当に感謝しています。今回で終わ  
りじゃなく今後も、こへび隊の活動  
は続けていきます。



ホコリにまみれての空き家改修作業

## 地域を売りこめ ボランティアガイド

—まつだいい地域振興会の取り組み—

松代地域の玄関口ほくほく線まつ  
だいい駅を出ると、そこはもうアートの  
森。松代城を頂く城山周辺には約  
50点もの恒久設置作品が展示されて  
います。

これらを観光資源として生かそう  
と、まつだいい地域振興会が、今回の  
芸術祭に併せて、地域民を募ってボ  
ランティアガイドを組織しました。

「来訪者に芸術祭の作品と併せて、  
松代を知ってもらうチャンス」と、  
作品の解説や地域の歴史・自然を自  
分たちの言葉でつづったガイドマニ  
ユアルを作成するとともに、3回の  
研修をとおして誰でもどこでも統一  
した案内ができるように体制を整え  
ました。

ガイドは18人。多くは勤めを退職  
した人で、7月下旬から活動を始  
めました。道の駅・松代ふるさと会館  
内に設けられたブースに毎日交代で  
2人が常駐。アートマップの配布や  
作品の道案内、また要望に応じて鑑  
賞者同行して地域散策ガイドに回  
りました。

「作品の解説は私らにはちよつと



ねー。ただ地域の歴史・文化はお手  
のもんだすけ、そこらをセールスポ  
イントにしての」と県自然観察指導  
員の松山金一さん（松代・63歳）は  
話します。

2kmのコースを、期間中約400  
人を案内して回ったボランティアガ  
イド。芸術祭が終わっても、まつだ  
いい駅で途中下車してほしいという思  
いが伝わってきます。

特集 — アートにける夏!!



川瀬一絵さん  
（横浜市・24歳）

前回参加して「作品を写真に撮り  
たい」と思い、専門学校で勉強して  
きました。そのかいあって、こへび  
隊から作品の撮影を依頼されました。

下田尚利さん  
（大和花道家元・  
財日本いけばな  
芸術協会常任理事）



前回までは鑑賞者として  
来ていました。今回、「小白  
倉いけばな美術館」を実施  
することになって、各流派

の人たちに声掛けをしました。最初は皆さん  
それほど乗り気ではなかったですね。それが、  
小白倉集落に着いたとたん「お〜！」という声  
がバスの中にこだましました。都市の建物の一  
室ではなく、自然の中、集落・民家の中で作品  
展開する意義が一瞬で分かったんですね。だから  
皆さん、力を入れて作品を作っていましたよ。

訪ねて来る人たちも、現代いけばなは初めて  
の人が多く、既成概念がない分、素直に感じて  
くれたようです。私たちもそんな皆さんとお話  
することができてありがたかったです。東京  
だと、身内や同業者が見に来るだけですからね  
（笑）。いろんな意味で新鮮です。「私も参加し  
たかった」という作家の声も多くありました。

ここから、新しいいけばなの波を作ってい  
きたいですね。



齋藤和美さん  
（新潟市・30歳）

4月末から毎週末通っています。お  
かげで、ごく自然に全作品の鑑賞が  
できます。役得、ラッキーです（笑）。

新潟市の皆さんの見学ツアーに  
（バスガイドとして）お供して来ま  
した。実は、数日前にも個人的に鑑賞  
に来ました。電車の窓から突然カラ  
フルな作品（「花咲ける妻有」（草間  
彌生））が見えて「あー、これが大  
地の芸術だ」って思いました。「現  
代アートって難しいのかな」って思  
っていました。大人でも子どもで  
も十分理解できますね。いろんな温  
泉に浸れるのも魅力です！

## やったぞ！ 全作品鑑賞

新鮮さ味わうアートの感動



南雲康弘さん  
（芋川・36歳）

「芋川遊志の会」に所属しています。  
会で、吉田明さんの「紙窯」での作品作  
りに携わっているうちに芸術祭に興味  
がわいてきました。作家さんの常識にと  
られない発想は、私にとって新鮮で  
した。今までの自分にはないものや違  
う見方を発見してくれる良い機会  
でした。米で作った世界地図を見た  
ときも「オースグエー」って、純粋  
に感動して友人にも勧めたりしま  
した。人を動かす力、アートは  
すごいですよ。

芸術祭の  
思い出をノートに



橋本涼花さん  
（新水・10歳）

飛渡第一小学校のみんなで、旧三  
ツ山分校に展示した山口啓介さんの  
作品作りを手伝いました。カセット  
テープのケースに、乾燥させた花や  
草を入れて、樹脂で固めて。できあ  
がりにびっくり！家の近くにも作  
品があったので、全作品を見ること  
にしました。全部写真に撮って7冊  
のノートにまとめました。驚きとわ  
くわくの夏休みでした。

芸術祭が結ぶ  
地域の手と手



滝沢 繁さん  
（三和町・63歳）

各地域の休憩所では、地元の人と  
どっぷり話し込んだりしました。空  
き家や棚田農業など、芸術祭の作品  
としての対象以外に、それぞれ地域  
で抱える問題なんか話題になりま  
したね。地域の課題を同じ市民とし  
て共有しあうことはいいことですね。  
道に迷ったときも地元の人が親切に  
教えてくれました。集落ぐるみで芸  
術祭に参加しているサポーターって  
感じて、うれしかったな！

# 続ける 50日間



「1番の美人は?」「はい!」…。全員1番の「美人商店」。スタッフと関係者です

作品「こころの花—あの頃へ」(菊池歩)の制作や鑑賞者の駐車案内、飲み物のサービスや加工野菜の販売など、集落(17軒)をあげてかかわった中平。作家と地域が一体になった取り組みは、今回の芸術祭を象徴するものでした。それぞれの立場でかかわった3人の感想を紹介します。

次回を目指している集落にはお手本ですゾ。

## ビーズがつないだ 若い衆と美人と知恵袋



**尾身昭一さん (74歳)**  
年寄りには、ビーズの花作りはできねんだが、野菜やみょうがにちつと手を加えて美人商店におろして手伝ったんぞ。菊池さんがずっとここに居たおかげだ。



**尾身愛子さん (55歳)**  
うお店を出しました。「しようにいも」「きゅうり漬け」「とうもろこし」なんか飛ぶように売れました。「こんなすばらしいところに住めて幸せですね」って言われたのが一番うれしかった。誇りに思います。



**尾身直樹さん (30歳)**  
ビーズの花でこんなに人が来るなんて思いませんでした。自宅前を駐車場に開放して、週末は毎日誘導係をやりました。若い衆はみんなごく自然に手伝いましたね。芸術祭と菊池さんのおかげで、集落のきずなが一段と深まりました。



**火焰型土器を生んだわけ**  
25年くらいずっと縄文土器の解明に取り組んで分かったんだ、縄文土器自体が窯だつて。何も特別な窯や大がかりな野焼きの必要はないんだね。周りを覆って土器に炭を詰めて焼けばできちゃう。ものすごく省エネでエコロジーな世界だよ。だからおれがここで焼いたのもみんな紙窯。木と新聞紙でできちゃうんだから(笑)。  
その土器でごはん炊いてもパンを焼いてもじゃがいもをゆでも、現代のものよりはるかにうまい。ここは、その縄文土器の代表・火焰型土器のふるさとでしょ。この土器は豪雪地帯しか出ない。冬ずっとこもって作っていたからあんなす

## 戦後初めての窯場創設へ 妻有焼 —— 始動

国宝火焰型土器を生んだこの地に、新しい窯場を興そうという活動が始まっています。今回の芸術祭で最高の人出があった願入・陶芸村に作品展開するとともに、清津川フレッシュパーク(芋川)にワークショップでエターナル(陶のベンチほか)を制作した陶芸家吉田明さんが中心になって進めているもので、唐津、瀬戸、益子、笠間などの近代窯に続く「妻有焼」を目指そうというものです。

**吉田明さん (58歳) に「妻有焼」**  
にかける思いをうかがいました。

### 火焰型土器を生んだわけ

「こいものができたんだと思うね。だから今年の冬は、おれも何もしないでもってやろうと思う。縄文時代にもともと窯場だったところを復活させるだけだよ。南から北へ窯場が作られてきた流れにも合うしね。去年、地震で崩れた斜面でいい土も見つけたよ、偶然だったけど(笑)。  
個人作家には限界があるでしょ。いくら人間国宝だって、死んだらそれで終わり。10年経ったら忘れられちゃうよ。だから窯業地として続くようにしたいんだよ。何よりも、今家を借りている樋口勝さん(朴木沢)一家を始め、この地域の

### こいは生き極楽

人とのふれあいが入ってき。この湯のみでお茶を飲むとんめやんだよね」なんて言われると焼物焼きみょうりに尽きるよ。米はうまいし野菜も水もおいしい、「生き極楽」だよ(こいは笑)。  
「エターナル」は初めもなければ終わりのないということ。ベンチに女性をかたどったのは、中越地震でがれきの中から奇跡的に助かった皆川優太ちゃんの姉で、亡くなった真優ちゃん(当時3歳)がもし生きていたらと、成長の過程を追ったものなんだ。彼女は事故に遭う前、「石の神様が助けてくれるよ」って言ってたんだ。だから弟が助かったんだね。そんな彼女の母のような心と、この地域の女性のたくましさ作品に込めてみたんだ。  
とにかくこれからだよ。皆さんよろしく(笑)。



**樋口 勝さん (朴木沢・49歳)**

吉田さんは、人に対して壁を作らないから、気楽に話ができいいよ。朝と夜はいつもうちでごはんミーティング(笑)。吉田さんのまわりにはいろんな人が集まるから、ほかのムラの人たちとも知り合いになれて良かったな。だから、ずっとつきあうさ(笑)。

## 数字で見る 第3回大地の芸術祭

### 芸術祭鑑賞者数 (人)

鑑賞者数	第3回	第2回
	348,997	205,100

### ツアーバス等交通システム利用者数 (人)

ツアー・ダイジェスト・シャトルバス
4,948

### ステージ等入館者数 (人)

鑑賞者数	きもの歴史館 (キナーレ内)	光の館 (川西)	農舞台 (松代)	キョロ口 (松之山)	夢の家 (松之山)	計
	7,933	15,426	29,200	33,871	10,655	97,085

### 主要作品鑑賞者数 (人)

鑑賞者数	十日町エリア				川西エリア		中里エリア	
	うぶすなの家 (願入)	土の音ほか (土市)	こころの花 (中平)	妻有の家 (四ツ宮公園)	いけばな美術館 (小白倉)	ベリー・スプーン (カゴグリーンパーク)	ポチヨムキン (倉俣)	ヘテロトピアへようこそ (清田山)
	22,711	5,382	18,418	11,814	12,434	3,707	8,938	5,546
鑑賞者数	中里エリア	松代エリア		松之山エリア		津南エリア		
	小出の家 (小出)	脱皮する家 (峠)	明後日新聞社 (助平)	蘭の家 (蓬平)	最後の教室 (東川)	足湯プロジェクト (浦田)	弾/彼岸の家ほか (足滝)	ドラゴン現代美術館 (上野)
	5,882	21,397	4,296	4,360	21,749	4,580	4,728	5,063

オープン  
しました!

# 市役所本町分庁舎 中里なかよし保育園

十日町市役所本町分庁舎と中里なかよし保育園が完成し、10月1日(日)と2日(月)に、それぞれのオープニングセレモニーが開催されました。

## 十日町市役所本町分庁舎

10月2日(月)、旧西脇ビル(本町2)で、田口市長ほか関係者約80人が出席して十日町市役所本町分庁舎の開庁式が開催されました。分庁舎には、市の組織として、観光交流課・産業



振興課・雇用開発室が配置されました。また、十日町観光協会・十日町市医師会事務局・十日町市社会福祉協議会・日本赤十字社十日町市地区・新潟県共同募金会十日町市支会・十日町市老人クラブ連合会の6団体も業務を行います。そのほか、NPO

### 分庁舎

4F	会議室
3F	十日町市社会福祉協議会・ 日本赤十字社十日町市支会・ 新潟県共同募金会十日町市支会・ 十日町市老人クラブ連合会
2F	産業振興課・雇用開発室・ 十日町市中魚沼郡医師会事務局
1F	観光交流課・十日町観光協会・ぼぼろ広場

法人なかまたちによる「ぼぼろ広場」が1階にオープンします。今回の分庁舎設置は、十日町市街地の活性化などを目的に行われたもので、行政組織を市街地に設けることにより、今まで以上に人の流れが市中心部へ集まることが期待されます。  
延床面積は1,938㎡、鉄筋コンクリート構造4階建、総事業費は1億3,474万円です。  
開庁式はあいにくの雨でしたが大勢の関係者が集まり、改修工事で大きく様変わりした施設前でテープカットを行い、その後、新しくなった庁舎内を見学しました。

### 中里なかよし保育園

10月1日(日)、十日町市立中里なかよし保育園(田中)の開園式が行われました。中里なかよし保育園は、中里地域にあった5つの保育園を統合してできたもので、鉄筋コンクリート構造(一部鉄骨)一部2階建てで、延床面積1,910㎡、総事業費は7億9,489万円です。乳児から5歳児まで合計9クラス、16

6人(定員180人)が通うこととなります。また、一時保育施設や子育て支援センター、世代交流室も備え、一時保育や障害児保育、学童保育など充実した内容の保育プログラムを用意しています。

開園式では、テープカットやくす玉開披の後、アトラクションとして5歳児の子どもたち38人が「世界中の子どもたちが」を大きな声で歌いました。服部令子園長は、「昨日まで中里保育園と南保育園の2つに分かれていましたが、今日から中里なかよし保育園になりました。みんな仲良く遊んでください」と、子どもたちに話していました。



# 十日町市総合防災訓練



中越大震災発生から2年が経過しようとしています。市では震災の教訓を忘れないため、総合防災訓練を実施します。

当日は、市内全域で午前9時にサイレン、半鐘、同報系無線で訓練の開始をお知らせしますので、一分間の黙とうをお願いします。また、エムエムとおかまち(FM78・3MHz)でも訓練開始緊急放送を行います。  
※サイレン・半鐘などが聞こえない場合は自主的に黙とうをお願いします。

▼日時 10月22日(日)

▼主会場 午前9時～午前11時40分  
市役所本庁及び周辺

▼災害想定(抜粋)

10月22日(日)午前8時56分、十日町市一帯を中心としたマグニチュード7.0の直下型地震が発生し、震度6強を観測した。ライフラインは、



ほとんど寸断された状態である。新潟地方気象台の発表では、余震は断続的に続くものと予想される。  
十日町市では、午前9時10分に市長を本部長とする災害対策本部を設置し、災害状況を把握するとともに、人命救助、災害復旧及び被害の拡大を防止するため防災活動を実施する。

▼主な訓練内容  
災害対策本部設置訓練、安否確認訓練、多数傷病者応急措置訓練、避難誘導訓練、火災消火訓練、倒壊家屋救急救助訓練(消防・災害救助犬十日町・建設業協会十日町支部・十日町重機組合)、高所救出訓練(はしご車、県防災ヘリ)、応援要請訓練、初期消火訓練、各種体験訓練(地震、濃煙、AED等)

## 防災計画(素案)への パブリックコメント募集

十日町市地域防災計画策定にあたり、市民の意見を計画内容に反映させるため、パブリックコメントを募集します。

- 意見募集する案件 十日町市地域防災計画(風水害等対策編・震災対策編)素案
- 募集期間 10月16日(月)～11月10日(金)(必着)
- 素案の閲覧

10月16日(月)から次のところで閲覧できます。  
本庁防災安全課/支所市民生活課/市内公民館/情報館/市ホームページ(<http://www.city.tokamachi.niigata.jp/>)

- 意見提出方法 住所、氏名、電話番号を明記して、持参・郵送・ファックス又は電子メール
- 意見の反映 意見集約後、内容検討の上計画への反映に努めます。
- 提出・問合せ

〒948-8501 十日町市千歳町3丁目3番地  
十日町市防災安全課  
TEL 025-757-3111(内線171・172) FAX 025-752-4635  
Eメール th-bosai@city.tokamachi.niigata.jp

## 市役所 フォ～カス ③



### ちりとりが大活躍!

ここは十日町駅西口前の噴水広場。清掃作業に取り組んでいるのはボランティアの皆さん。現在、噴水は中越大震災で排水設備が壊れたことから止まっています。そのため、清掃で流した水も排水できません。そこで活躍したのがちりとりで、水をすくって外に出すための秘密兵器として登場。水を流すバケツ係、ブラシ係、ちりとり係と各担当がてきぱきと動き、約1時間で広場はすっかりきれいになりました。市内の公園管理は、こうした多くのボランティアの皆さんによって支えられています。

# 地上デジタル放送を視聴するには

10月から新潟県内の全放送局が地上デジタル放送(地デジ)を開始し、弥彦山送信所(親局)を使った送信がスタートしました。これにより、十日町市近辺の中継局も地デジ放送対応のための改修が順次進められています。

地デジ放送を受信するためには、UHFアンテナが直接親局に向いている状態で、地デジ対応の受信機またはチューナーが用意されていることが基本的な条件ですが、その他にもいくつかのパターンがあります。

## パターン①の場合

親局から直接電波を受信するパターンです。UHFアンテナと地デジ放送を受信するための受信機またはチューナーがあれば視聴できます。

## パターン②の場合

十日町市近辺にある中継局から電波を受信するパターンです。この場合は、中継局が地デジ放送のための改修がされていない必要があります。この改修は2010年までに順次行われることになっています。各

家庭で用意するものは、パターン1の場合と同じです。

## パターン③の場合

共聴施設(共同アンテナ)を使って電波を受信するパターンです。この場合は、共聴受信機器のデジタル化改修が必要です。施設によって維持管理の形態や機器の設備が異なりますので、改修方法や費用などは、施設管理者または保守を依頼している事業者にご相談ください。各家庭で用意するものは、地デジ対応の受信機またはチューナーです。

## パターン④の場合

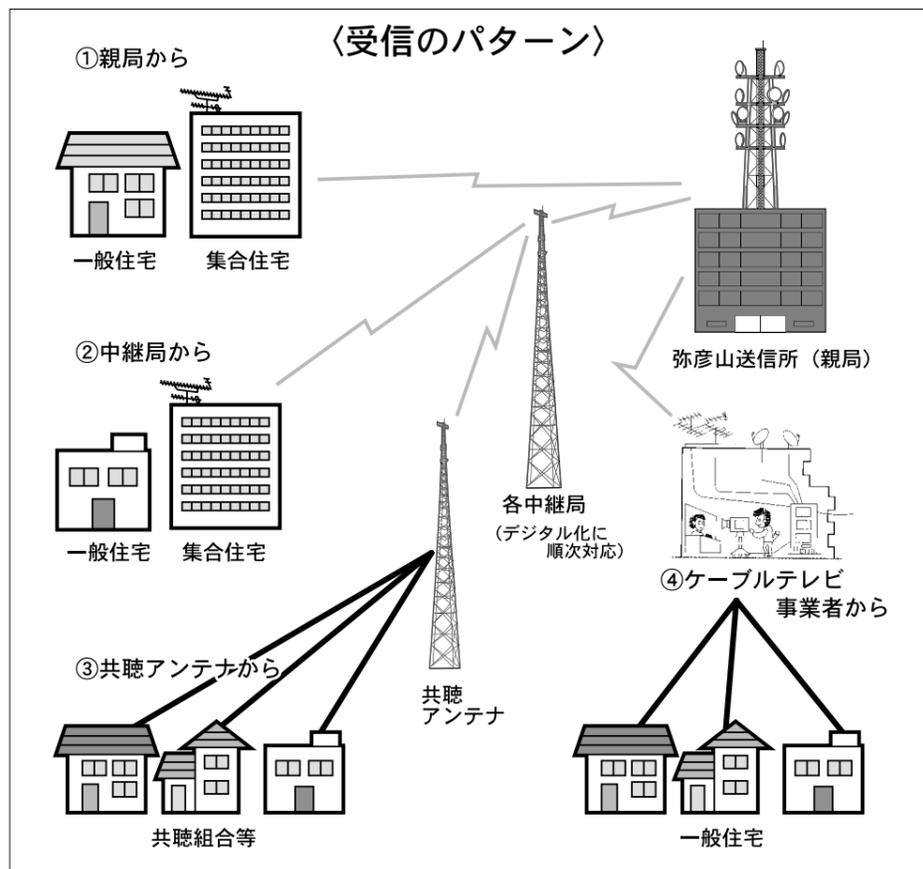
ケーブルテレビに加入して地デジ放送を見るパターンです。市は、高速情報通信基盤を活用し、ケーブルテレビ放送事業の中で、地デジ放送の再送信のほか地域コミュニティ放送を行います。各家庭で用意するのは、パターン3の場合と同じです。市町村合併によってひとつになった地域の情報共有やコミュニティの活性化は、地域再生には欠かせないものです。自宅のテレビという一番

身近な機器を通してこれらのサービスを行うことは、行政情報の伝達だけでなく地域の一体感の醸成を進めるとともに、ほかのケーブルテレビ

局と連携し市の情報発信に大きな役割を果たすことが期待できます。

### 〈集合住宅の場合〉

パターン3の共聴施設同様、それぞれの施設によって設備が異なりますので、施設管理者等へお問い合わせください。



## スポーツの秋到来！全国大会出場選手紹介

9月25日(月)、市役所で第61回国民体育大会秋期大会出場選手の激励壮行会が行われました。

今回の秋期国体には新潟県代表として7人の十日町市出身選手が会場、活躍が期待されます。種目、選手名、所属は次のとおりです。(敬称略)

■第61回国民体育大会秋季大会(9月30日)〜10月10日(火)、兵庫県



神戸市ほか)▼陸上競技:田村英晃(十日町高校)、樋熊敬史(陸歩クラブ)

ブ:十日町高校出身)▼山岳競技:小林祐佳、瀧澤三咲子(以上十日町高校)、樋口大棋(日本大学・十日町高校出身)▼体操競技:佐藤将吾(分水高校・松代中出身)▼相撲競技:村山智明(海洋高校教諭・十日町高校出身)

## 献血功労者・よい歯の母子・よい歯の高齢者の表彰

9月26日(火)、市役所で、長年にわたって献血にご協力を頂いた皆さんと、よい歯の母子・高齢者の1団体・17人が表彰されました。(敬称略)



よい歯の母子で表彰された、中嶋さん(右)、長津さん(左)

### 【献血功労者】

●団体 榊関芳(山本町5)

●個人

350回:阿部正彦(稲荷町4)

100回:星名究(中条旭町)、西野二郎(北新田第3)、村山信正(稲荷町3本通り)、廣田弘二(荒屋)

### 【よい歯の表彰】

●よい歯の母子

中嶋昌子・陽奈(吉田山谷)、長津靖子・咲希(川治上町第1)

●よい歯の高齢者

池田チイ(高山第4)、田口貞雄(本町7-1)、村越定七三(野口)、庭野周作(袋町中)、春日キヨ(高山第3)、福崎マサノ(高山第3)、櫻井弘志(田川町3)、関谷和雄(太平)

地域に貢献 社会に貢献 土地活用

## 10月は土地月間

一定面積以上の土地取引には届出が必要です

国土利用計画法では、国土の適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、法定面積以上の土地取引を行った場合、土地の所在する市町村を経由して都道府県知事に届出をすることを義務付けています。

◆届出義務者:権利取得者(売買であれば買主)

◆届出時期:契約締結日(予約を含む)から2週間以内

◆届出場所:土地の所在する市町村役場

◆届出事項:①土地に関する売買などの当事者②所在③利用目的④対

価など

◆法定面積:①市街化区域2、000㎡以上②都市計画区域(①を除く)5、000㎡以上③都市計画区域外10、000㎡以上

※個々の取引面積は小さくても、土地の総面積が右記の面積以上になる場合には、届出が必要になります。また、期限内に届出をしなければ、法律により罰せられることがあります。

## 18年度地価調査価格発表

地価調査は適正な土地価格を公表し、土地売買の目安にしようというものです。市内基準地の地価調査価格は次のとおりです。調査価格などの関係書類は都市計画課で閲覧できます。

区分	所在、地番(行政区)	価格
住宅地	春日86番(春日町1)	44,900円/㎡
住宅地	中条甲2817番(旭ヶ丘)	17,200円/㎡
住宅地	南新田町2丁目4番15(南新田町2)	34,400円/㎡
住宅地	馬場丁1209番6外(土市2)	20,900円/㎡
住宅地	中仙田甲841番3外(中仙田)	4,300円/㎡
住宅地	水口沢176番(旧川西田中町)	16,300円/㎡
住宅地	仁田2288番(仁田)	10,200円/㎡
住宅地	本屋敷下村丁1369番1(本屋敷)	3,900円/㎡
住宅地	通り山字居平子126番1(通り山)	13,700円/㎡
住宅地	松代字宮沢入3208番2(松代)	9,500円/㎡
住宅地	犬伏字北浦497番1(犬伏)	2,000円/㎡
住宅地	蒲生字赤根2055番1外(蒲生)	5,050円/㎡
住宅地	松之山字前田1214番25(松之山)	8,200円/㎡
住宅地	浦田字湯田2967番1(湯之島)	1,800円/㎡
住宅地	東川字中屋126番1(東川)	1,400円/㎡
商業地	字上原子164番4(高田町1)	61,900円/㎡
商業地	上山字向田己1592番1外(上山)	27,300円/㎡
商業地	松代字上ノ山下3296番1(松代)	13,900円/㎡
準工地	字中割目寅甲406番14(西本町1)	48,200円/㎡
準工地	字下平寅乙376番8外(下島)	54,000円/㎡
林地	姿甲2359番外(姿1・2)	95,000円/10a

問合せ

都市計画課  
☎7573111  
(内線332)

# 18年度 公民館まつり

## 松代公民館

**日時** 11月3日(文化の日) 午前9時～午後4時  
4日(土)午前9時～午後3時  
**会場** 松代総合センター・第一区民会館・松代活性化センター・ふるさと会館  
**内容** きらく塾受講生・文化協会・地域の皆さんの作品展示、こどもまつり  
**問合せ** 松代公民館 ☎597-2301

## 水沢公民館

**日時** 10月29日(日)午前9時～午後3時30分  
**会場** 水沢公民館  
**内容** 講座生・利用団体・地域の皆さんの作品展示・演芸会、もちつき、きのこ汁サービス、農産物・手作りの品の販売、軽食パザール、無料茶席、リース手作り体験  
**問合せ** 水沢公民館 ☎758-3101

## 中里公民館

**日時** 11月3日(文化の日)～5日(日)  
午前9時～午後7時(5日は4時まで)  
**会場** 中里総合センター・保健センター  
**内容** 第2回中里芸術祭、講座生・利用団体の作品展示、中里地区内小・中学生の発明工夫・模型展入賞入選作品展示、焼き物体験教室、焼き物即売コーナー、チャリティー茶会、公民館主催コーナー  
**問合せ** 中里公民館 ☎763-2493

## 松之山公民館

**日時** 10月29日(日)午前9時～午後3時  
**会場** 松之山自然休養村センター・松之山体育館  
**内容** 第25回農業祭(農業加工品展示即売、農機具展示即売、もちつき大会、きのこ丼・手打ちそば・おにぎり試食会)、第26回芸能祭(よさこいソーラン、上川手歌舞伎ほか)、第36回美術展&湯鳥フェスティバル(講座生の作品展示、生涯学習コーナーほか)  
**問合せ** 松之山公民館 ☎596-2265

## 川西公民館

**日時** 11月4日(土)午前9時～午後8時  
5日(日)午前9時～午後4時  
**会場** 千手中央コミュニティセンター  
**内容** 講座生・地区文化活動団体・地域の皆さんの作品展示、川西地区行事のビデオ上映会、特別展「木本有太可 切り絵の世界展」  
**問合せ** 川西公民館 ☎768-2308  
▼正月のお飾り(餅下紙)体験教室  
●日時 11月4日(土)～5日(日)午後1時～3時  
●会場 千手中央コミュニティセンター  
●定員 各日とも15人 ●参加費 500円  
●申込み 川西公民館 ☎768-2308

## 下条公民館東下組分館

**日時** 10月22日(日)  
午前9時～午後3時  
**会場** 下条公民館東下組分館  
**内容** 作品展  
**問合せ** 下条公民館 ☎755-2004

## 下条公民館下組分館

**日時** 11月5日(日)  
午前9時～午後3時  
**会場** 下条公民館下組分館  
**内容** 作品展、食品パザール  
**問合せ** 下条公民館 ☎755-2004

## 下条公民館

**日時** 10月29日(日)  
午前9時～午後4時  
**会場** 下条公民館  
**内容** 講座生・利用団体の作品展示、食品パザール、ビデオコーナー  
**問合せ** 下条公民館 ☎755-2004

## 下条公民館上組分館

**日時** 11月3日(文化の日)  
午前9時～午後3時  
**会場** 下条公民館上組分館  
**内容** 作品展、食品パザール  
**問合せ** 下条公民館 ☎755-2004

## 下条公民館上新田分館

**日時** 11月5日(日)  
午前9時～午後3時  
**会場** 下条公民館上新田分館  
**内容** 地域の皆さんの作品展示、飲食コーナー、農産物即売会、不用品パザール  
**問合せ** 下条公民館 ☎755-2004

## 中条公民館新座分館

**日時** 10月22日(日)  
午前10時～午後2時半  
**会場** 中条公民館新座分館  
**内容** 講座生の作品展示、パザール、体力測定会、子どものキーホルダー作り  
**問合せ** 中条公民館 ☎752-2748

## 中条公民館大井田分館

**日時** 11月3日(文化の日)  
午前9時～午後3時  
**会場** 中条公民館大井田分館  
**内容** 講座生・地域の皆さんの作品展示、ほほえみ家族似顔絵展、抹茶無料サービス、飲食コーナー、地域の皆さんによる芸能祭  
**問合せ** 中条公民館 ☎752-2748

## 吉田公民館

**日時** 11月5日(日)  
午前9時～午後3時  
**会場** 吉田公民館  
**内容** 講座生・利用団体・地域の皆さんの作品展示・活動成果の発表、囲碁・将棋・オセロ体験コーナー、飲食コーナー、かえっこショップ  
**問合せ** 吉田公民館 ☎752-2874

## 吉田公民館名ヶ山分館

**日時** 11月5日(日)  
午前9時～午後0時30分  
**会場** 吉田公民館名ヶ山分館  
**内容** 作品展、ステージ発表  
**問合せ** 吉田公民館 ☎752-2874

※中条公民館は9月30日(土)・10月1日(日)に実施しました。

## 六箇公民館

六箇公民館中村分館・ニツ屋分館

**日時** 10月29日(日)  
午前9時～午後3時  
**会場** 六箇公民館  
**内容** 講座生・利用団体・地域の皆さんの作品展示、第27回妻有街道歩け歩け大会写真展、パザール、ちびっ子広場  
**問合せ** 六箇公民館 ☎752-5434  
川治公民館 ☎752-2223

## 吉田公民館真田分館

**日時** 11月5日(日)  
午前11時～午後3時  
**会場** 吉田公民館真田分館  
**内容** 秋野菜の展示即売、もちつき、ゲートボール交流  
**問合せ** 吉田公民館 ☎752-2874

## 中央公民館

**日時** 10月28日(土)午前9時～午後10時  
29日(日)午前9時～午後3時  
**会場** 中央公民館  
**内容** 講座生・利用団体による作品展示(生け花・焼き物・写真・手芸・工芸・園芸・俳句・書道・絵手紙・洋画・日本画・活動記録など)、販売コーナー(お寿司・赤飯・廃油セッケン・不用品・焼き物・園芸品)、体験コーナー(もちつき大会・百人一首・茶室・ちんころ作り)、ステージ発表(合唱・ダンス・フルート演奏など)、ビデオ作品・映画上映、飲食コーナー、射的、金魚すくい  
**問合せ** 中央公民館 ☎757-5011

## 飛渡公民館飛渡分館

**日時** 10月29日(日)  
午前9時～午後2時  
**会場** 飛渡第一小学校  
**内容** 講座生・地域の皆さんの作品展示、ステージ発表、おにぎりと豚汁のサービス、チャリティーパザール、喫茶コーナー  
**問合せ** 飛渡公民館 ☎759-2032

## 川治公民館

川治公民館北新田分館・城之古分館・関浅分館・八箇分館

**日時** 11月3日(文化の日)  
午前9時～午後3時  
**会場** 川治公民館  
**内容** 講座生・利用団体の作品展示、不用品販売、手作りの廃油セッケン販売、焼き物即売会、無料茶席、第8回川治健康ウォーク写真展、ちびっ子広場  
**問合せ** 川治公民館 ☎752-2223



# 国民健康保険・老人保健の一部が変わりました

医療制度の改正により、10月から医療費の自己負担などが変更になりました。改正内容をお知らせします。

## 高額療養費（医療費）自己負担限度額の改正

上位所得者世帯の年間所得額の見直しが行われ、一般所得者世帯以上の自己負担限度額が引き上げられました。また、過去12か月以内に3回以上、高額療養費の支給を受けた人の自己負担限度額も引き上げられました。（表1参照）

## 一部負担金割合の改正

70歳以上で課税所得額が145万円を超える一定以上所得者世帯の自己負担割合は、2割から3割になりました。

なお、税制改正による経過措置の対象者は3割負担ですが、一般所得者世帯の自己負担限度額が適用されます。その場合は、受給者証に記載されていますので、ご確認ください。（表1参照）

## 出産育児一時金の改正

10月1日以降の出産における出産育児一時金を、これまでの30万円から35万円に引き上げました。

## 特定疾病療養費（国保）の自己負担限度額改定

70歳未満の人工透析を要する上位所得者の1か月あたりの自己負担限度額が、1万円から2万円に引き上げられました。

## 療養病床に入院の場合の食費の改定及び居住費負担

70歳以上の人で療養病床に入院する場合は、食費の改定が行われるとともに居住費の負担が必要となりました（表2参照）。ただし、一般病床に入院する場合は負担は変更ありません。



問合せ  
保険年金課国保係  
☎75731111 内線164

（表2）◆療養病床に入院する場合の食費・居住費（70歳以上の人）

		9月30日まで 食費(1食)	10月1日から	
			食費(1食)	居住費(1日)
一定以上・一般所得者世帯		260円	460円	320円
非課税	低所得者Ⅱ	210円 (91日以上入院) 160円	210円	
	低所得者Ⅰ(世帯の所得なし)	100円	130円	
	老齢福祉年金受給者	—	100円	

※低所得Ⅰ・Ⅱの人は、市で発行する「限度額適用・標準負担額減額認定証」が必要になります。

（表1）◆高額療養費自己負担限度額（※太字は今回の改正箇所）

平成18年9月診療分まで		平成18年10月診療分から	
70歳未満の人(自己負担割合は3割。ただし、3歳未満の乳幼児は2割。)			
	自己負担限度額		自己負担限度額
上位所得者世帯 (年間所得670万円超)	139,800円+(医療費-466,000円)×1% (77,700円)	上位所得者世帯 (年間所得600万円超)	150,000円+(医療費-500,000円)×1% (83,400円)
一般所得者世帯	72,300円+(医療費-241,000円)×1% (40,200円)	一般所得者世帯	80,100円+(医療費-267,000円)×1% (44,400円)
低所得者世帯 (市民税非課税者世帯)	35,400円 (24,600円)	低所得者世帯 (市民税非課税者世帯)	35,400円 (24,600円)

70歳以上の人(70歳未満の老人保健対象者含む)

	自己負担割合	自己負担限度額	
		外来(個人ごと)	自己負担限度額
一定以上所得者世帯	2割	40,200円	72,300円+(医療費-361,500円)×1% (40,200円)
一般所得者世帯	1割	12,000円	40,200円
低所得者世帯 (市民税非課税世帯)	1割	8,000円	24,600円
		8,000円	15,000円
一定以上所得者世帯	3割	44,400円	80,100円+(医療費-267,000円)×1% (44,400円)
一般所得者世帯	1割(3割※)	12,000円	44,400円
低所得者世帯 (市民税非課税世帯)	1割	8,000円	24,600円
		8,000円	15,000円

(※注) 3割負担の人のうち税制改正のための経過措置により一般所得者世帯の限度額が適用される場合があります。(受給者証に明記してあります。)  
(※) 金額は1月当たりの限度額。〈 〉内の金額は、多数該当(過去12ヶ月に3回以上高額療養費の支給を受け4回目以降の支給に該当)の場合。

# 「老人保健」

こんなとき届出・申請が必要です

## 加入医療保険に変更があったとき

速やかに届け出てください。医療機関で受診しているときは、その月内に変更後の保険証を医療機関の窓口に表示してください。  
●届出に必要なもの  
変更後の医療保険証

## 75歳になる前に老人保健に該当する人

65歳以上で、次のいずれかに該当する人などです。  
① 身体障害者手帳の交付を受けている人で1〜3級に該当する人、下肢障害で4級の1・3・4号に該当する人、音声機能・言語機能の4級に該当する人  
② 国民年金法による障害基礎年金を受給している人で、身体・精神障害を問わず1・2級に該当する人  
③ 障害年金は受給していないが精神障害の程度が1級または2級と同程度であると判断できる人、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害に該当する人

## 高額医療費の支給

1か月の自己負担限度額が10月から変わりました。

同じ月で、市民税の課税状況などにより世帯ごとに決まっている限度額よりも、医療機関で支払った医療費が多い場合は、老人保健から払い戻しが受けられます。高額医療に該当する人には市から通知を出しますので申請においでください。

●申請に必要なもの  
医療受給者証、振込先口座控、医療保険証

問合せ  
保険年金課国保係  
☎75731111 内線165

10月から

# 障害者自立支援法の新しいサービスが始まります

障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現をめざした「障害者自立支援法」が4月から施行され、障害福祉サービスを利用した場合の利用者負担額などが変わりました。10月からスタートする障害福祉サービスや各種事業などについてお知らせします。

## 障害福祉サービスの体系が変わります

障害福祉サービスは、個々の障害の程度や社会活動、介護者、居住などの状況によって、個別に支給決定が行われる「障害福祉サービス」と、市が主体で行う「地域生活支援事業」に大別されます。さらに「障害福祉サービス」は、介護の支援を受ける「介護給付」、訓練などの支援を受ける「訓練等給付」に分かれます。利用できるサービスと支給量は、障害程度区分（区分1〜6）とサービスの利用意向などによって決定します。

## 地域生活支援事業がはじまります

障害のある人の自立支援のため、市などが主体となつて行う事業は左の表のとおりです

事業項目	事業内容	利用者負担
相談支援事業	障害者などからの相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護など必要な支援を行います	無
コミュニケーション支援事業	聴覚、言語機能などの障害のため、意思疎通を図ることに支障がある人に、手話奉仕員などの派遣を行います	無
日常生活用具給付事業	重度障害者に対し、日常生活用具を給付します	無補装具と日常生活用具の制度の表のとおり
移動支援事業	外出時における移動中の介護などのサービスを行います	サービス料の1割*1
地域活動支援センター事業	創作的活動または生産活動の機会の提供、機能訓練、社会適応訓練、入浴などを行う施設です	障害者支援センター 無 身体障害者福祉センター サービス料の1割 *1
日中一時支援事業（短期入所型）	日中、一時的に見守りが必要な障害者等への支援を行います	サービス料の1割 *1
生活サポート事業	介護給付支給決定者以外の人への支援を行います	サービス料の1割 *1
社会参加促進事業（自動車運転免許取得、改良助成）	自動車運転免許取得及び自動車の改造に要する費用の一部を助成します	上限額あり
訪問入浴サービス事業	訪問により居宅において入浴サービスを提供します	サービス料の1割 *1
経過的デイサービス事業	障害者デイサービス事業所への経過措置（来年3月末まで）	サービス料の1割 *1

\*1 原則サービス料の1割ですが、市民税非課税世帯は利用負担の5割の減免があります。また、障害福祉サービスの月額上限負担額と併せた負担軽減があります。

## ●障害福祉サービス

介 護 給 付	居宅介護（ホームヘルプ）	自宅で、入浴、排せつ、食事の介護などを行います
	重度訪問介護	重度の肢体不自由で常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時の移動支援などを総合的にを行います
	行動援護	自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行います
	重度障害者等包括支援	介護の必要性がとて高い人に、居宅介護など複数のサービスを包括的にを行います
	児童デイサービス	障害児に、日常生活の基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行います
	短期入所（ショートステイ）	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護などを行います
	療養介護	医療と常に介護が必要な人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護、日常生活の世話をを行います
	生活介護	常に介護が必要な人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護などを行い、創作的活動または生産活動の機会を提供します
	障害者支援施設での夜間ケア等（施設入所支援）	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護などを行います
	共同生活介護（ケアホーム）	夜間や休日、共同生活を行う住居で、入浴、排せつ、食事の介護などを行います
訓 練 等 給 付	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、身体機能または生活能力の向上のために必要な訓練を行います
	就労移行支援	一般企業などへの就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練を行います
	就労継続支援（雇用型・非雇用型）	一般企業などでの就労が困難な人に、働く場を提供し、知識や能力の向上のために必要な訓練を行います
	共同生活援助（グループホーム）	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います

## 補装具と日常生活用具の制度が見直されます

●種目の見直し  
現在補装具として扱っているもの、また、日常生活用具としてしているものが下の表のように再編および、廃止されます。

●補装具の利用者負担の見直し  
これまでは、障害者世帯の所得状況に応じて利用者負担を決定していましたが、10月からは、原則、かかった費用の1割が利用者負担となります。補装具の費用負担は、次のとおりです。

① 生活保護世帯 無料  
② 市民税非課税世帯 収入により、月額上限額が1万5,000円と2万4,600円  
③ 市民税課税世帯 月額上限額が3万7,200円  
④ 市民税の所得割額の最多納税者の納税額が50万円以上の場合 補装具費支給対象外

※日常生活用具の利用者負担も補装具の利用者負担と同様の見直しとなります。

※補装具制度によるストマ装具給付者は12月支給分から新制度へ移行しますので、該当者へは個別に連絡します。

補 装 具 (主な品目)	・義肢 ・車いす ・補聴器 ・歩行補助杖（一本杖除く）	・装具 ・電動車いす ・義眼 ・座位保持装置 ・歩行者 ・盲人安全杖	現行どおり	利用者負担は1割 (ただし 負担上限あり)
	眼鏡	遮光眼鏡・矯正眼鏡など 色めがね	廃止	
	重度障害者用意志伝達装置		日常生活用具から移行	
日常生活用具 (変更分のみ)	・ストマ用装具 ・人工喉頭 ・歩行補助杖（一本杖のみ）	・頭部保護帽 ・収尿器 ・点字器	補装具から移行	※日常生活用具については、市民税非課税世帯に対する減免があります。
	・浴槽（湯沸器） ・パーソナルコンピュータ		廃止	

問 合 せ 福祉課 障害福祉係 内線141・142

湯ノ米マイ心ハート

# まつのやま

松之山支所  
☎596-3131

## 「地域の住民は地域で守ろう」

### 自主防災組織リーダー研修会開催

9月27日(水)、松之山自然休養村センターで自主防災組織リーダー研修会が開催されました。この研修会は、市防災安全課が、地域の防災力向上とリーダーの資質向上を高めてもらうと計画したものです。現在、松之山地域には7集落で自主防災組織が設立されていますが、今回はその代表者やまだ未設置の行政区の市政事務嘱託員、地区協議会代表など約30人が参加しました。



尾身誠司さんによる講演

講師は、市内で防災活動の普及などを行っているNPO法人「セーフティネットぼうさい」代表の尾身誠司さん。ビデオ「あなたは命を守るか」の上映後、「自主防災組織の設立・整備」と題して講演しました。

尾身さんは「自主防災組織の立ち上げは、それぞれの地域にあった方法が大切になります。規模としてはコミュニティが行われている集落単位くらいがよいでしょう。また、災害発災時には、地域住民の安否確認が第一です。市が指定する避難場所以外の自主避難所も必要だと思います。一番大切なのは、自分の命は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守らなければならないということだと思います。これまでの経験を交えながら、自主防災組織の必要性を語っていました。

# かわい新聞

川西支所  
☎768-3111

## 高齢者

### コミュニティハウス起工

9月28日(木)、高齢者コミュニティハウス建築工事の起工式が行われ、関係者約30人が出席しました。高齢者コミュニティハウスは高齢者専用の共同アパートで、旧南原保



高齢者コミュニティハウスの起工式

育園跡地(高原田)に建設されます。この施設は、高齢などのため自宅に生活することに不安のある人が入居の対象となります。入居するには、必要に応じた保健福祉サービスの相談・利用手続きの援助などを総合的に提供。高齢者が安心して健康で明るい生活が送られるように支援する目的で建設されるものです。この日は、田口市長のほか設計業者・施工業者が起工式をした後、工事の安全を祈願しました。

建物、鉄骨造2階建て・延べ面積約767㎡・入居定員15人(1人部屋11室・2人部屋2室)・工事費約1億7700万円、平成19年3月末に完成する予定となっています。※しゅん工後に、施設の内覧会および入居者の募集を行います。

## 子育て談話室

9月19日(火)、松之山保育園で「松之山子育て談話室にこころ」が開催されました。この相談室は「まつのやま」子育て委員会(通称子育てネット)の一環として行われており、今年5月から「十日町にこころルーム」の津和子さんを講師に迎えてスタートしました。

この日は、保育園児や小学生を持つお母さんたち13人が参加。大津さんは「子供(の姿)は、親(の姿)なんだ。親(心や気持ち)が安定していれば、子供はやるべきことをやる」「親(心や身体)が元気だと、子供も元気になる」などと親(特に父親)の在り方の大切さを話しました。みんな悩みを聞いたり、自分の思いを語ったり、そして励まされたりの談話室。参加者からは「悩みの



車座になって子育て相談

相談ができて、気持ちが軽くなった」の声が聞かれました。事務局では「気軽な会をモットーにしているので、多くの人から参加してほしい」と話していました。子育て相談室は、毎月第3火曜日午後6時30分から松之山保育園子育て支援センターを会場に開催中です。

## 陶芸作品、まもなく完成

9月14日(木)、松之山公民館主催の「ゆとり陶芸教室」が開催されました。今年の受講生は13人。この日は、前回制作した素焼きの陶器のヤスリ掛けと色付けのための釉薬を塗る作業を実施。制作している作品は皿や花瓶、コーヒークップなど、中にはきゅうすに挑戦している人もいます。公民館職員は「ほとんどの人が初心者ですが、作品を作るときの発想やアイデアが豊富で驚きです」と話していました。完成作品は、10月29日(日)開催の第36回松之山美術展に展示発表されることになっています。



陶芸を楽しむ

## 『瀬替えの郷せんだ』に表彰状

「道の駅 瀬替えの郷せんだ」が中越大震災の際、多方面に渡る災害復旧及び防災活動が顕著であったとして、(社)日本道路協会から表彰されました。これは、平成18年度「道路ふれあい月間(8月1日～8月31日)」において、道路愛護団体などを対象に表彰が行われたものです。

「瀬替えの郷せんだ」は、中越大震災時に、住民への被災対応や防災・災害対応基地として施設が使用され、職員も支援活動に協力。「道の駅」の防災機能による地域への貢献が評価されたものです。ほかにも、十日町市内では、「道の駅クロス10十日町」が表彰を受けています。



道路愛護団体表彰式で、表彰状の伝達を受けた田村川西支所長(前列左から3番目)

## 実りの秋道を力走!

9月16日(土)、川西中学校グラウンドを発着点として、川西マラソン大会が開催されました。

この大会は、十日町市体育協会川西支部(保坂和則支部長)が毎年開催しているもので、今回で30回目となります。

競技は、個人走と駅伝の部門で健脚が競われ、選手は実りの秋道を力走。沿道からも盛んに声援が送られていました。



個人走部門で元気に道路に出て行く選手たち



**増田 青空ちゃん**  
 ますだ そらちゃん  
 平成16年2月11日生まれ  
 塚原町

冬にはめずらしい快晴の日に生まれた日から、名前が青空ちゃん。3人姉兄の末っ子でいつもおねえちゃんたちの後ろを追っかけています。スヌーピーの毛布がそらちゃんの大事な宝物です。

# あそびの キヤンパ

16



**中村 優彦ちゃん**  
 なかむら まさひこちゃん  
 平成16年5月25日生まれ  
 本町6-1

6人兄弟の5番目で次男のま一君は飛行機やパトカー、消防自動車が好き。好き嫌いがなく、食べているときが一番機嫌のいいま一君です。ときどきけんかもするけどとっても仲良しの6人兄弟です。

# ときめき ネットワーク

**池田秀美さん**  
 1983年生  
 櫛びっとランド勤務

先月の押木真澄さんからバトンタッチ。

## 楽しさ存分、スノーボードに思い馳せ

冬が待ち遠しいです。ウィンタースポーツ、特にボードはもう始めて11年になります。専門の学校にも進学しようと思っただけです。去年はケガもしちゃったけど、今年は思いっきり滑ります。

冬が待ち遠しいです。ウィンタースポーツ、特にボードはもう始めて11年になります。専門の学校にも進学しようと思っただけです。去年はケガもしちゃったけど、今年は思いっきり滑ります。



高校生のころにアルバイトをしていたときから勤めているので、かれこれ7年になります。なじみのお客さんも多くなって、つい話し方もリラックスしちゃうときもあります。

元氣と笑顔が売りですから、この夏は県外のお客さんもおかげかな。道もよく尋ねられました。でも、十日町以外のことは私もちよつと。まちなことも勉強しなきゃね。

季節によって扱う商品の多寡があります。農繁期のいまとか、冬除雪のころからは軽油が多く出ます。車のパーツも違います。お客さんのニーズに応えた品ぞろえやサービスが必要ですから、多くの知識を身に付けなきゃって思っています。自分の自信にもつながりますからね。でもまずは基本的なことをしっかりやること。特に油種間違いには気を付けています。

冬が待ち遠しいです。ウィンタースポーツ、特にボードはもう始めて11年になります。専門の学校にも進学しようと思っただけです。去年はケガもしちゃったけど、今年は思いっきり滑ります。

# 元氣予報

問合せ 健康支援課成人保健係  
 TEL757-3111（内線125）

## だれもができるバリアフリー

### バリアフリーとは

「壁がない」「妨げになるものがない」と訳され、一般的には「障害者や高齢者が自立して生活できるような不便なところ（もの）を改善する」という意味で使用されています。

手すりをつけたり、段差を無くしたりすることだけがバリアフリーだと思いがちですが、皆さんのちょっとした手助けや声かけ、気づかいが大きなバリアフリーになります。バリアフリーとは、「みんなが暮らしやすい町にする」ということです。

### ◆教室参加者の話

- 【退院後の外出で うれしかったこと】
- ・スノーバーの駐車場でシヨッピーングカートを押していたら、「返してきましょうか」と声をかけてくれた。
  - ・「よかったらどうぞ」と席を譲ってくれた。
  - ・雪道で転んだときに手を貸してくれた。



みんなが暮らしやすい町にするために、自分たちができるバリアフリーを実行してみませんか。

# 光ケーブルネットワークで 地域が変わる

VOL.9

◆問合せ◆  
 総務課 政策係  
 ☎757-3111  
 （内線233）

## ◆情報化推進のための 企画提案会を開催

十日町市では、高速情報通信網整備事業を進めるにあたり、今後、連携していく事業者を決定するための企画提案会（プロポーザルコンペ）を開催したいと考えています。

企画提案会では、市が作成した仕様書に基づき、参加事業者がそれぞれの特長や独自性を発揮した提案をしてもらった上で、あらかじめ決められた項目による総合的な評価を行います。この評価結果を受け、市長が連携事業者を決定します。

その後、市と選ばれた事業者との間で協議を行い、具体的なサービス内容や利用料金などを取り決め、それらが情報化アクションプランに反映されることとなります。

## ◆企画提案会に対する 評価委員会を設置

企画提案会での評価を公正・公平に行うために、市は評価委員会を設置しました。大島貞二助役を委員長に、総勢13人の委員で構成されています。その内訳は、大島委員長を含めた行政職

## ◆評価委員会の役割

評価委員会では、企画提案会で評価を行うほか、仕様書の内容や評価項目についても審議し、意見をまとめる役割を担っています。また、運営形態や、コンペの形態についても検討します。

※次回は第7回情報化推進会議の内容についてお知らせします。

【有識者】大串葉子  
 （敬称略）

【推進委員会選任委員】樋口誠、重野真一、峰尾二郎、富井富士子、引間博、島本ひろみ

【推進会議議長】澤村明（評価委員会副委員長）

【行政側委員】大島貞二助役（評価委員会委員長）、丸山俊久収入役、池田春夫総務課長、南雲晃総合政策課長、蔵品泰治財政課長

員5人、澤村明情報化推進会議委員長、情報化推進会議から選任された委員6人、市長が選任した有識者1人となっています。9月29日（金）に第1回評価委員会を開催し、その後、評価結果を取りまとめるまでに6回程度開催する予定です。

### 【退院後の外出で 切なかつたこと】

- ・ 健常者の中で自分一人が障害者だったことで不安になった。
  - ・ 健常者ができることが自分にはできなかった。
  - ・ 病気のことをいろいろ聞かれ、「かわいそうに」と言われた。
  - ・ 障害者用駐車場が整備されているにもかかわらず利用していても元氣な人が利用している使えなかつた。
  - ・ 杖をつけて歩いている横を自転車が勢いよく通って転びそうになった。
- 【外出したいが不安なこと】
- ・ 休憩するいすや洋式トイレなどがないところだったらどうしよう。
  - ・ 何をすることも時間がかかるので、人に迷惑をかけてしまう。



### 秋風きって24時間リレーマラソン

9月30日(土)正午から10月1日(日)正午にかけて「第16回ロマン24 in まつだい」が松代クロスカントリースキーコースを会場に行われました。16回目を迎えるこの大会には、今年も市内外から37チーム370人余りが参加しました。このマラソンは1チーム10人以内のメンバーがリレーでたすきをつなぎ、1周2.13kmのコースを24時間で何周走れるかを競うものです。今回の最多周回は「十日町市駅伝部」チームで173周368.59kmを走破しました。また、「2006、アップ三和」(上越市)チームが、今大会までの累計走破距離3,000kmを達成しました。両日とも秋晴れの好天のなか、走者たちはさわやかな風を受けながら思い思いのペースで走り抜けていました。

tokamachi topics

### 生き物いっぱい 水辺の楽校

9月23日(秋分の日)、つまりっ子ひろば(妻有大橋上流河川敷)で第5回信濃川水辺の楽校が開催され、小学生を中心に親子連れなど約60人が参加しました。子どもたちは、専門家の指導を受けながら信濃川の水生生物や植物・昆虫・野鳥などを観察。「わ、いたいた」「これ、何だろ」など、元気な声が河原にこだましていました。樋口りかさん(高田町)・7歳は、「ヒゲナガカワトビケラをつかまえたよ。いろいろな生き物がいて楽しかった」と満足そうでした。



### 動物ふれあいフェスティバル in とおかまち

9月24日(日)、当間高原ベルナティオ芝生広場を会場に、「2006動物愛護ふれあいフェスティバル in とおかまち」(魚沼地区動物愛護ふれあいフェスティバル実行委員会主催)が開催されました。動物の愛護と適正な飼育の理解・関心を深めるとともに、命の大切さをはぐくもうと、十日町・小千谷・魚沼地域が持ち回りで開催しているものです。メイン広場では、動物愛護功労表彰式や純粋犬の紹介、家庭犬のしつけ方教室、災害救助犬疑似捜査などが行なわれたほか、動物ふれあいコーナーやグルーミングの実演コーナーなども設置され、中でもポニーの乗馬体験は子どもたちに大人気でした。秋晴れのこの日、愛犬家やたくさん家族連れなどでにぎわいました。



## まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係(☎757-3111内線213)へ、お気軽にお寄せください。

tokamachi topics



### だれもができるボランティア

10月1日(日)千手中央コミュニティセンターを会場に、福祉まつり2006が開催されました。これは、だれもが気軽に参加できるボランティア活動や地域福祉活動の推進のための環境づくりの一環として行なわれたもので、昨年までは川西社会福祉協議会で行っていた同イベントを、今年から(社)十日町市社会福祉協議会の主催で開催したものです。会場では、ミニ点字教室やなごみの家・しづみの家作品展・販売、アニメーション映写会などが行なわれ、約500人の人でにぎわいました。今回行われたバザー・映写会・手作り弁当などの売上金205,880円は赤い羽根共同募金に寄付されます。



### 早大生農を学ぶ山村交流

9月23日(土)に松代・蒲生地内で、早稲田大学の学生61人が堀口健治副総長引率のもと、稲刈りの体験学習を行いました。これは同大が農山村体験実習の一環として、今年から松代地域で行っているものです。参加した学生は、これまで稲を刈りながら「ちゃんと育っているか心配でした。除草や防虫など多くの手間がかかっている」と聞きました。農家の皆さんに感謝です」と、自分たちが植えた稲の成長を喜びながら実りの秋を実感していました。



### 十日町の秋に縄文の味を堪能

10月1日(日)、第7回笹山じょうもん市2006が開催され、大勢の人でにぎわいました。縄文生活体験コーナー、笹山縄文太鼓などの催し物が行われる中、「菜食空間」では、縄文土器で調理して作ったどんぶりもちやどんぶりせんべいなどの縄文の味に舌鼓を打ちました。会場にはミス十日町雪まつりの富沢好美さんも訪れ、記念撮影や、黒米を使ったもちつきに参加。午前と午後行われたもちつきで、来場者は小豆色をした黒米のもちを口いっぱいにはおぼっていました。

### 死亡事故0を目指して 秋の交通安全パレード

9月24日(日)、秋の全国交通安全運動の一環として、交通安全街宣パレードが行われ、白パイを先頭に約250人が本町6丁目から駅通りまで行進しました。キナーレで行われた出発式で、交通安全協会長の児玉昭一郎さんは「市では、今年すでに5件の交通死亡事故が発生しています。悲惨な事故がなくなるように元氣よくパレードしてください」とあいさつしました。パレードには中学生によるブラスバンドや老人クラブのほか、今回初めて市内の接客業者防犯組合(草津進組合長)も参加し「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を合い言葉に飲酒運転の阻止・撲滅を市民にアピールしました。



環境講演会

「地域温暖化と私たちの暮らし」

身近な暮らしの中から、地球温暖化防止対策を実践してみませんか

日時 10月22日(日)午後1時30分～ (開場1時)

会場 十日町情報館



気象予報士 飯島 希さん (元NHK 気象キャスター)

入場料 無料 問合せ 市民生活課生活環境係 (内線157)

新潟県中越地震 2周年合同追悼式



GUIDE

お知らせ・ガイド 市役所 TEL 757-3111

高齢者交通安全大会

参加自由、申込みは不要です。日時 10月23日(月)午前10時～11時

博物館ミニギャラリー 名誉市民紹介

和紙を切って描き出す美術 木本有太可切り絵の世界

古道松之山街道 秋のハイキング

やこコンサート・地元舞踏会の踊り・交通安全漫談ほか

「森の学校」キヨロロ 吾が故郷 松之山 佐藤一善写真展

2006十日町市男女共同参画推進事業 寸劇とトーク・Talkできっかけづくり

キナーレ体験工房館 きもの着付け教室

男性の着付け教室

もしものときの応援協定 9月27日(水)、市役所で災害時応援協定の合同締結式が行われました。



tokamachi topics



ヒロシマを語りついで世界に平和を

1945年8月6日、人類史上初の原子爆弾が投下された広島での体験談をとあして、世界の平和と被爆者への支援を考えようと9月28日(木)、市立中条中学校及び千手中央コミュニティセンターで「ヒロシマを語る会」が開催されました。

スポーツの秋 クロアチアピッチでサッカーイベント開催



クロアチアカップサッカーフェスティバル

9月23日(土)・24日(日)の2日間、クロアチアピッチでクロアチアカップサッカーフェスティバルが開催されました。

横浜F・マリノスふれあいサッカースクール

9月30日(土)・10月1日(日)の2日間、クロアチアピッチ活用事業実行委員会主催による横浜F・マリノスサッカースクールが行われ、約300人の子どもたちが秋晴れのピッチの上をボールといっしょに走り回っていました。



	物件	間取り	家賃(月)	募集戸数	備考
十日町	黒沢市営住宅	昭和51年度建築 簡易耐火2階建	6畳1室、4.5畳1室、DK	1戸	S21号室 条件により単身可
	黒沢町営住宅	昭和46年度建築 簡易耐火2階建	6畳1室、3畳1室、DK	1戸	K18号室 条件により単身可
松代	善宗塚市営住宅	昭和51・52年度建築 簡易耐火3階建	6畳1室、4.5畳2室、DK	5戸	8、11、16、 17、21号室
	下町市営住宅	平成4年度建築 木造高床3階建	11畳1室、6畳1室、LDK	1戸	2号室
	下町第2住宅(特定公共賃貸住宅)	平成7年度建築 木造高床3階建	10畳1室、8畳1室、6畳1室、DK	1戸	A-3号室

25日(水)※入居の資格条件があります。●申込み・問合せは建

ナーレ体験工房館●受講料は5

00円(きもの一式持参の場合)

●定員は各回5〜10人※10月27

日(金)までに要予約

※両教室とも途中受講可能です。

●問合せはキナーレ ☎752

10117)

妻有ふるさと水里ふれあい事業

現地見学会

中山間地の体験交流や地域活性化を考えます。松代・松之山



'06秋季特別展  
～古代の文字に祈りをこめて～

ばんじ まんだら  
梵字・曼荼羅展

市内野口在住の書家田辺武(斎武)さんが所属する国際梵字仏協会の協力を得て、「梵字・曼荼羅展」を開催しています。仏の徳が宿るとされる梵字を配して描き出される絵画や曼荼羅などの作品は、うるおいを失いかけた現代の人たちへ仏教文化の美と心を伝えながら、安心と平和へのメッセージが込められています。あわせて、市内に残る中世の梵字碑を紹介します。

- 日時 10月22日(日) ※毎週月曜日・祝日翌日休館
- 会場 博物館
- 入館料 300円 (団体20人以上250円)
- 問合せ 博物館 ☎757-5531

ワークショップ

～梵字を書いてみよう～  
10月15日(日) 午後1時30分～  
どなたでも参加できます

コースがあります。

【現地見学会】

●日時 10月25日(水)午前8時30分(クロス10集合) 午後1時

●対象 郡市内在住の人●定員

各コース先着40人●参加費

無料●申込み・問合せ 10月20

日(金)までに十日町地域振興局農

業振興部庶務課農用地係 ☎7

57-5521)

中小企業会計啓発・普及セミナー

【明日の経営を創る】

●日時 11月16日(水)午後1時30分

分 4時30分 ●会場 十日町商

工会議所 ●対象 中小企業の経

営者、財務担当者など ●受講料

無料 ●定員 50人 ●申込み・

問合せ 11月5日(日)までに申込

書(問合せ先に配置)を添えて

十日町商工会議所 ☎757-

5111)

3施設合同文化祭

【みつば祭】

●日時 10月21日(土)午前10時

午後2時30分 ●会場 なごみの

家・エンゼル妻有・身体障害者

福祉センター ●内容 作品展示

授産製品販売、軽食コーナーな

ど ●問合せ なごみの家 ☎7

52-5212)

よう。●問合せは十日町警察署 ☎752-0100)

サッカーU-19 日本代表候補  
トレーニングキャンプ決定

- 期間 10月14日(土)～18日(水)
- 会場 クロアチアピッチ(珠川) 14日(土)(時間未定) チーム到着後ホテルベルナティオで歓迎セレモニーを予定しています
- 問合せ: クロアチアピッチ活用事業実行委員会事務局 (スポーツ振興課内 ☎752-4377)

寄付ありがとう 9月25日届出分まで(敬称略)

- 情報館へ=野沢恒雄(上町) 庭野勇吉(高田町3西) 関口蒼一郎(学校町2) 星名四郎(上野) 本間興(新潟市)
- 博物館へ=蕪木芳平(十日町栄町) 阿部恭平(十日町栄町) 半間正(千歳町) 根津寛二(八幡田町) 岩田勉(下川原町) 佐藤武信(上町) 尾身良子(鉢第2)

募集

陸海空自衛隊専門技術者  
自衛隊生徒募集

専門技術者養成のため自衛隊生徒を募集します。●応募資格 平成19年4月1日現在15歳以上17歳未満の男子で、中学校卒業(見込み含む) または中等教育学校前期課程修了者 ●受付期間 11月1日(水)～19年1月9日(火) ●身分 特別国家公務員 ●取得資格 高校卒業資格取得(卒業時) ●1次試験 19年1月13日(土) ●問合せ 自衛隊新潟地方協力本部長岡出張所 ☎0258-33-0256)

自衛官募集

●応募資格 平成19年3月1日現在18歳以上27歳未満の人 ●応募科目 2等陸・海・空士 ●受付期間 10月28日(土) ●試験 10月29日(日) ●問合せ 自衛隊新潟地方協力本部長岡出張所 ☎0258-33-0256)

市営住宅入居者募集

公営住宅への入居者を募集します。●募集期間 10月12日(木)

あまのこ

▼当間クロアチアピッチでサッカー教室を取材すると、子どもたちにサッカーを根付かせるため、地元関係者が努力し続ける姿に感銘を受けます。そして10年以上も昔、当間高原にグラウンド建設を計画し、ここまで十日町地域にサッカー文化を根付かせた先人の努力に驚かされます。十日町市はスキー競技を筆頭に、さまざまな種目で全国レベルの選手を輩出していますが、それは地域で選手を育てる努力が実った結果といえ、2001年の十日町高校の甲子園出場や、毎年恒例となったスキー大会制覇といった快挙が地域に大きな喜びを与えることを考えると、やはり、地域ぐるみ、町ぐるみで選手を育て、支える努力に拍手を送りたいと思います。



▼まつだの駅南口を出た棚田に、黄色と青のオブジェが目に残ります。芸術祭の看板ともなった「棚田(イリヤ&エミリア・カバコフ作)」です。5つの像は、古式ゆかしい農作業の風景ですが、私も馬耕を除いてどれも経験しています。毎年この季節、重い稲を背負い数十メートルと上りあがる、棚田でのあのつらい作業のことを今は懐かしく思い出します。

▼表紙の田中富雄さんは、一昨年の春立ち上げられた「棚田の楽校」の校長先生でもあります。早くに棚田オーナー制度に取り組み、学生や棚田オーナーさんなど年間を通じて多くの人が田中さんのものに訪れます。楽しそうな年間の活動を見ると、棚田のあのつらいイメージが大きく変わります。





うしろのしんじゅん  
 うしろのしんじゅん



しんじゅん  
**相崎慎太郎さん** (1年)

ぼくは辰年です。十二支の本を読んだら、かっこよかったので作りました。お茶を顔にはってりゅうらしくしたんだ。ひもを引っ張るとりゅうが飛んでいるように動くよ。



きょうりゅう  
 たんけんかん

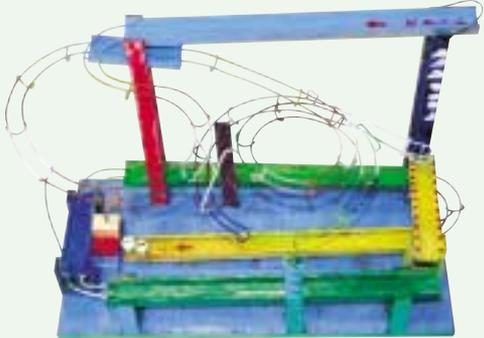


たいき  
**酒井大樹さん** (2年)

夏休みに恐竜探検館(所沢市)に行きました。恐竜がたくさんいる中を、舟で進んだ。ぼくは左に描いた「ティラノザウルス」が好きだから目を強そうにしました。



# ジュニア芸術祭



ビー玉  
 ジェットコースター



はやた  
**酒井颯大さん** (3年)

おもしろいおもちゃを作りたいかったです。速いスピードでビー玉が走るよ。カーブでビー玉が飛び出さないように針金の高さを調節するのがおもしろかったです。



ぼくの家



しゅん  
**春日 惇さん** (4年)

新しく建てたぼくの家そっくりに作りしました。ペニアをカッターでいねいに切って、壁や屋根がきちんと合うようにしました。屋根をとるとぼくの部屋もあるよ。



でっかいナマズをとった!



みなこ  
**春日美菜子さん** (5年)

「いのちのあさがお」を読みました。弟が亡くなってしまう悲しいお話だったから、夏休みに兄弟で遊んだ楽しい思い出を描きました。



夜の花火



すずか  
**大熊鈴香さん** (6年)

長岡の花火です。900本の虫ピンに通したビーズが、光に当たると輝いたように見えます。大きい花火や小さい花火などビーズの配色に工夫して形を整えました。

16

吉田小学校



携帯サイト

